

## 2022年度 自己評価公表

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 こうのとり保育園  
2023.03.01

### 法人理念

～キリスト教精神による隣人愛～

### こうのとり保育園 教育・保育理念

キリスト教の精神を基本理念とし、児童福祉法・児童憲章にのっとり、健康で安全な乳幼児の教育・保育を目指します。

- \*愛されて、愛する心を知り、お互いが大切な存在であることを知る。
- \*一人ひとりの違いに気づき、お互いを認め合いながら共に主体的に生活する。
- \*自己発揮できる環境の中で創造性を育てる。
- \*在園・地域の子育て家庭が心豊かな環境で子育てできるように支援する。

こうのとり保育園では、「保育者のための自己評価チェックリスト～保育者の専門性向上と園内研修の充実のために～」を使用し、職員が自己評価を行いました。自己評価の結果から見えてきた、園としての課題を職員間で共有し、教育・保育の質の向上のため次年度の取り組みにつなげていきたいと思えます。

	自己評価結果・課題
第1章総則 「教育・保育の基本」	・子どものために今自分たちは何ができるのか、何をしたら良いかを考え、再度スタートラインに立つ。保育の基礎となる指針の見直しをする必要がある。“当たり前”にできていることの見直しも必要ではないかとの意見もある。答えは子どもが持っているという視点の元、今一度自分たちのやってきたことを振り返り、日常の保育に活かしていくように話し合った。
第5章「職員の資質向上」	・日常の中で職員間のやり取りも大切にしてきた。チーム保育を学んでいく中で、自分軸、相手軸でも考えることが出来るようになってきている。また、自分の行動を見つめ直し、他の保育者とも考えを共有していくことを大切にしている。 ・職員との語り合いを定期的に行っている。それぞれの保育観を共有し合うことで、より良い教育・保育の提供ができること、より風通しのよい職員間を目指すことができる。
全体として	今、目の前にいる子どもたちは何を求めているのか。自分達が視野を広げていかなければいけないことに改めて気付かされた。「一人ひとりを丁寧に教育・保育をする」という視点では、今日の前の子どもたちは何を求めているかを一人ではなく、複数人と語り合うことで、求めているものが見えてくるため、今後も語り合いを含めながら、保育の質向上に努めていきたい。